



学校だより

6月号

令和8年5月29日

横浜市立南小学校

校長 池田 尚子

見方を変えれば

副校長 喜多村 美弥子

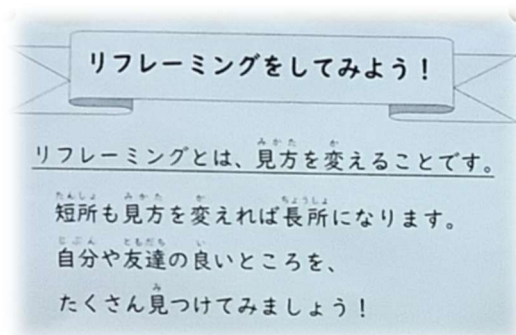
新緑の色がいっそう深まり、雨の季節を迎えようとしています。先日は授業参観にお越しいただきありがとうございました。子どもたちは、少し緊張しながらも、張り切って学習に取り組む姿が見られました。着任して二か月が過ぎようとしています。廊下や教室での明るい挨拶や、休み時間に校庭や体育館で元気に遊ぶ姿など、日々の学校生活の中で子どもたちのよさやあたたかさに触れる場面が多くあり、私自身も元気をもらっています



「せっかち → すぐに行動できる」

「おしゃべり → 人と話すのが好き」

さて、少し前から保健室前に、「短所を長所に変えたいやき!」という掲示があります。「リフレーミングしてみよう。短所も見方を変えれば長所になります。自分や友達の良いところをたくさん見つけてみましょう。」と紹介されています。



などのように、リフレーミングとは、出来事や状況を別の視点から見ることで感情や反応をかえるという手法で、やる気が高まる、自信がつく、苦手意識が弱まる、人間関係が良くなる、などの効果があるといわれています。

短所に見える部分の裏側には、よさが隠れています。どんなふうに相手を見るかで、相手が自分をどう感じるかも変わってくるのではないかと思います。南小学校の学校教育目標は「自ら課題をもち、あたたかい心でかかわっていく南の子」です。自分のよさや課題に気づき、それを前向きに受け止めたり、友達のよさを見つけて認め合ったりできるよう、教職員一同、支えていきたいと思っています。

今月もよろしくお願いいたします。